

狛江高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目 音楽 I 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2単位

対象学年組： 第1学年1組～8組

教科担当者： 1組：太宰 2組：太宰 3組：太宰 4組：太宰 5組：太宰 6組：太宰 7組：太宰 8組：太宰

使用教科書：MOUSA 1：教育芸術社

使用教材：New Chorus Frinds 6訂版：教育芸術社

	指導内容	科目音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	楽典(音符、音名、拍子)の知識	音符、休符、拍子について理解する。音名については3か国語を習得する。	音符、音名、拍子について理解できているか課題の提出状況により確認。	3
	ギターについてのオリエンテーション、弦替え	ギターの種類、歴史、姿勢について理解する。	積極的に取り組んでいるか、弦替えが正しくできたかを確認。	3
5月	楽典(音符、音名、拍子)の知識	音符、休符、拍子について理解する。音名については3か国語を習得する。	音符、音名、拍子について理解できているか課題の提出状況により確認。	3
	ギターのチューニングと奏法、音階練習	チューニングの仕方の習得、アポヤンド奏法とアルアイレ奏法について理解する、ギターで音階演奏の習得。	積極的にとりくんでいるか。それぞれの奏法を身に付けたうえで音階練習に楽しく参加できているか。	3
6月	楽典(音符、拍子、音名)とリズムソルフェージュ	音符や拍子に関する基本事項を確認した上で、リズムのレベルを段階的に上げての演奏に挑戦。	正しいリズム演奏ができているかをワーク提出と一人ずつの演奏により確認。	3
	ギターのチューニングと奏法、音階練習、簡単なメロディー、コード	ギターで簡単なメロディーを1曲習得、また5つのコードを抑えられるようにする。	積極的に取り組んでいるか。正しい奏法、指使いでメロディーやコードが演奏できているか授業内で確認。	4
	楽典テスト	音符、拍子、音名に関するペーパーテストを実施。	ペーパーテストにより基本的楽典事項の確認。	1
7月	楽典(音符、拍子、音名)とリズム聴音とリズム創作	楽典の基本事項を確認の上、リズム聴音の実践と簡単なリズム創作と演奏。	聴音の実施と一人ずつ創作リズム演奏により確認。	2
	ギター実技テスト	一人ずつのギターの実技テストを実施。	正しい運指、奏法で演奏できているかを実技テストにより確認。	2

9月	楽典（調・音階）についての知識	長調・短調と音階について理解する。	長調と短調、そして音階の構造が理解できているかを一人ずつ確認。	2
	ギターのデュエット演奏（パート）	デュエットに取り組むことで、アンサンブルの基本を学ぶ。	ギターのチューニングができるか、また音階、簡単なメロディー演奏ができるかを一人ずつ確認。	3
	キーボードの基礎、奏法について	キーボードの運指、手の形についての理解と簡単な音階を弾けるようにする。	正しい運指や手の形ができた上で演奏できているか授業内で確認。	3
10月	楽典（調・音階・コード）についての知識	長調・短調・調号について理解した上でキーボードやギターで音階を演奏。	キーボードやギターで長調と短調、音階が演奏できるかを一人ずつ確認。	2
	ギターのデュエット演奏(合わせ)	デュエットに取り組むことで、アンサンブルの基本を学ぶ。	メロディー、コードが正確に演奏できているかを一人ずつ確認。	2
	キーボードで簡単なメロディー、コード伴奏を行う。	レベルは3段階に設定し、それぞれの目標の向かって練習できるようにする。	授業内でそれぞれが目標を持って取り組んでいるか確認	2
11月	楽典（調・音階・コード）についてのテスト	調・音階・コードについてのペーパーテストを実施。	ペーパーテストにより、調・音階・コードについての理解を確認。	1
	ギターのデュエット演奏(合わせ)	デュエットに取り組むことで、アンサンブルの基本を学ぶ。	相手の音を聴きながら演奏できているかを個別に確認。	4
	キーボードで簡単な曲の伴奏付け	コードとメロディーの関係を理解し、適切なコードを選択した上でそれを演奏に結び付ける	理論的な裏付けをもとにキーボードを使ったコード演奏ができるかを確認。	3
12月	ギター、キーボード実技テスト	ギターとキーボードの実技テストによりどこまで習得できたかを一人ずつ確認する。	良い音を出したうえで、相手の音もよく聴きながら演奏できているかを確認。	2
	発声の基本、歌唱「校歌」	発声の基本を学んだ上で校歌を題材とし、混声4部合唱に取り組む。	積極的にとりくんでいるか。正しい発声、正しい音程で歌えているか。	2
1月	歌唱「校歌」、混声4部曲	腹式呼吸、体の脱力をしながら意識して発声練習をする。合唱曲に取り組む。	積極的にとりくんでいるか。正しい発声、正しい音程で歌えているか。	3
	ギター、キーボードのアンサンブル	ギター、キーボードなどを取り入れたアンサンブルに挑戦する。	積極的に取り組んでいるか。互いの音を聴きあい楽しくアンサンブルできているか。	3

2月	コード演奏を含めた実践	コード演奏の応用(弾き歌い)を習得する。	積極的に取り組んでいるか。弾き語りが出来ているかを授業内で確認。	1
	ギター、キーボードのアンサンブル	ギター、キーボードなどを取り入れたアンサンブルに挑戦する。	楽しくアンサンブルに取り組んでいるか。より良い表現が聞かせているかを授業内で確認。	1
	歌唱、混声4部曲	良い響きで歌うことを目標に、合唱曲に取り組む。	良い発声で確実に自分のパートをうたえるか。音楽表現できているか。	2
3月	歌唱テスト	歌唱の実技テストを実施。	歌唱力を実技テストにより確認。	2
	ギターの弾き語り	各自選曲して、ギターの弾き語りに挑戦する。	音楽発表会形式により人前で発表させて確認。	2

年間授業計画様式例

**狛江高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ 年間授業計画**

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～2組

教科担当者：(1組：太宰 ) (2組：太宰 )

使用教科書：( MOUSA 2 : 教育芸術社 )

使用教材：( )

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション、音楽の和音の役割について	授業における自分の目標を持たせる、また和音の大きな3つの役割について理解する。	明確に目標を持ったか、また意欲的に取り組んでいるか、授業内で確認する。	2
5月	和音の役割について、また和音進行について	和音の大きな3つの役割について理解をさらに深め、和音進行についても学習する。(教材：アメージンググレース)	意欲的に取り組んでいるか、授業内で確認する。	4
	デュエットに取り組む	ピアノとトランペットのデュオに取り組む。	意欲的に取り組んでいるか、授業内で確認する。	4

6月	メロディーと和音について	メロディーと和音の関係を学習する。	ノート提出により評価。	3
	デュエットに取り組む	ピアノとトランペットのデュオに取り組む。	意欲的に取り組んでいるか、授業内で確認する。	3
7月	楽曲分析の実践	各自好きな曲を選び、楽曲分析に取り組む。	ノート提出により評価。	1
	デュエットの発表	演奏会形式でピアノとトランペットのデュオの発表を行う。	ピアノとトランペットの演奏により評価する。(音楽上のコミュニケーションが取れているか、またより良い表現が目指しているか)	1

年間授業計画

狛江高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目 美術 I 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組～8組

教科担当者：（1組：玉井）（2組：玉井）（3組：玉井）（4組：玉井）（5組：玉井）（6組：玉井）（7組：玉井）（8組：玉井）

使用教科書：（日本文教出版）

使用教材：（なし）

	指導内容	科目美術Iの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション アイズブレイク・鑑賞 水張り	・年間の授業計画、評価の諸説明 ・アイズブレイクのための工作・即興画 ・展示し、鑑賞し合う ・水張りの技術を習得する	①関心・意欲・態度（授業観 察・発言などの参加度） ②発想・構想の能力（作品・授 業観察） ③創造的な技能（作品・授業 観察） ④鑑賞（レポート・感想文・発 言など）	2
	鉛筆デッサンの基本 鉛筆画『人物を描く』	・用具、材料、鉛筆の特性について理解を深める ・【実習】グラデーションを描く ・基本的な形の描き方などについて理解を深める	①②③	2
5 月	鉛筆画『人物を描く』	・光を意識し明暗を描いていく ・面の捉え方を理解する ・量感の表現を工夫をする ・色や質感の表現を工夫する	①②③	6
6 月	鉛筆画『人物を描く』 文字の工夫 鑑賞	・実技指導（個人） ・納得するレベルまで完成度を高める ・書体や大きさ、配置を工夫し表現の可能性を考える ・お互いの作品を鑑賞しあう	①②③④	5
	立体作品（石彫）	・課題の説明をする ・身近にある抽象彫刻に意識をむける ・制作の手順を理解する ・感情やイメージなど象徴する形を考え、エスキースを練る	①②③	3

	指導内容	科目美術1の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	立体作品（石彫）  鑑賞・レポート『お気に入りの1枚』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおまかな形をおこす</li> <li>・実技指導（個別）</li> <li>・レポートについての説明</li> </ul>	①②③④	4
9月	立体作品（石彫）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を考えながら細部へと彫りすすめる</li> <li>・実技指導（個別）</li> </ul>	①②③	6
10月	立体作品（石彫）  デザイン（平面構成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納得するレベルまで形成する</li> <li>・納得するレベルまで磨き上げる</li> <li>・作品単体としての造形的な魅力だけでなく、台座によって生み出される空間が、イメージを変化させることを楽しむ</li> <li>・課題の説明をする</li> </ul>	①②③	6
11月	デザイン（平面構成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水張りの復習をし、技法を身につける</li> <li>・絵の具の種類について学ぶ</li> <li>・筆、溝引き、烏口の道具について学ぶ</li> <li>・植物を観察し、美しい形や色を発見し、その中から数理的ともいえる造形の秩序を見出し構成する</li> <li>・配色計画をする</li> <li>・実技指導（個別）</li> </ul>	①②③	8

	指導内容	科目美術1の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	デザイン（平面構成）	・実技指導（個別）  ・パネルカバーのはり方を学ぶ	①②③	4
	版画（エッチング）	・版画の種類について学ぶ  ・課題説明		
1 月	版画（エッチング）	・エッチングの特徴を生かし原画の作成をする  ・エッチングの手順を知る  ・実技指導（個別）	①②③	6
	版画（エッチング）	・密度を高める  ・印刷の原理を知る  ・版を重ね、納得するレベルまで高める		
2 月	版画（エッチング）	・密度を高める  ・印刷の原理を知る  ・版を重ね、納得するレベルまで高める	①②③	6
	版画（エッチング）	・版画におけるサインの入れ方、ルールを知る		
3 月	展示 鑑賞・まとめ	・作品展示のレイアウトをクラスごとに考える  ・年間の活動を振り返り、生涯にわたって芸術を愛好する心を育てる	①②③④	2

年間授業計画

狛江高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目 書道 I 年間授業計画

教科 科：芸術 科 目：書道 I 単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組～8組

教科担当者：(1組：斉藤美) (2組：斉藤美) (3組：斉藤美) (4組：斉藤美) (5組：斉藤美) (6組：斉藤美) (7組：斉藤美) (8組：斉藤美)

使用教科書：(書 I：教育図書)

使用教材：(なし)

	指導内容	科目書道 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	書道の授業について、「楷書前後出師表巻」	用具用材の使用の仕方等をしっかり身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	3
	楷書 書写の学習を思い出して	楷書の基本を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	3
5 月	楷書「牛欄造像記」	北魏時代の書風にふれる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	3
	楷書の創作	これまでの学習を生かした創作をさせる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	3
6 月	楷書「孔子廟堂碑」	楷書にはさまざまな書風があることを理解させる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4
	行書の基本	行書の基本を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4
7 月	行書「蘭亭序」	行書の基本を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4



	指導内容	科目書道 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	行書「蘭亭序」	行書の基本を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	2
	行書「風信帖」	日本の行書にふれる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	2
	書展に向けての作品づくり	これまでの学習(書写等)の能力をさらに高める。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4
10 月	篆書「泰山刻石」	篆書の基本を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	2
	篆刻	篆刻の用具・用材の扱い方と運刀の基礎を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4
11 月	仮名の基本	仮名成立過程及び字源について理解を深め、 仮名の基本的な用筆・運筆を身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4
	仮名「蓬萊切」	連綿など多様な技法も身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4
12 月	仮名「高野切」	散らし書きなど多様な技法も身につける。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4

	指導内容	科目書道 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	漢字仮名交じりの書 & 暮らしの中の書	目的や用途に応じ、書体を選び、用筆や運筆に注意させながら、 暮らしの中に役立つ書を作成させる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	3
	楷書「顔氏家廟堂碑」	初唐の三大家と顔真卿の表現、書風の違いに気づかせ、 特徴的な筆使いを理解させる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	3
2 月	楷書「雁塔聖教序」	楷書にはさまざまな書風があることを理解させる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	2
	隷書「曹全碑」	隷書の基本的な用筆・運筆を身につけさせる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	2
3 月	暮らしの中の書	書道の学習で得た技能や態度を生活に生かす力をつけさせる。	①積極的に取り組んでいるか。 ②作品の出来	4